

競争ではなく，共創を — 単独では成し得ない成長を，共に創る ～東北アライアンス建設株式会社の挑戦～

東北アライアンス建設株式会社

1. 東北から発信する「共創経営」という選択

2011年3月11日——東日本大震災。

あの日，東北の街も人も建設業も，同じ問いに直面しました。「この地域をどう立て直すか」，そして「どう持続させるか」。

震災以降，私たちはインフラ復旧と地域再建の最前線に立ち続けてきました。道路，橋梁，堤防，学校。再生の現場には，一人ひとりの暮らしがあります。そこから生まれたのは，単なる“建設”ではなく，“地域経営”という新しい発想でした。

復興需要が落ち着いた今，東北の建設業界は次の大きな転換期を迎えています。人口減少，技能者不足，老朽化インフラ，そして頻発する災害。

特に，地震・豪雨・豪雪といった自然災害の頻発化は，地域建設業に対し「より強く，より広く，より速く動ける体制」を求めています。

こうした状況の中で，各県・各企業がそれぞれに課題を抱えて孤立するのではなく，「一つの東北」として力を合わせることの重要性が見えてきました。この気付きが，「東北アライアンス建設株式会社（TAC）」誕生の出発点となりました。

地域全体で課題を共有し，知恵を出し合い，力を補い合う仕組みをつくること。それこそが，私たちが掲げる理念「競争ではなく，共創を」の原

点です。

2. 広域連携の挑戦 — TAC 設立の原点

TAC は，東北を代表する建設会社7社と，みずほ銀行により2025年6月に設立されました。設立の目的は明確です。それは，「建設業界の垣根を越え，東北全体で共創のプラットフォームをつくること」。

従来，建設業界は入札制度や商習慣の関係上，どうしても“競争”を前提とした構造にありました。しかし，時代は確実に変化しています。人口減少，熟練技術者の引退，若手人材の不足——これらの課題に，もはや単独で立ち向かうのは難しい。

そこで私たちは，互いの経験や技術，経営資源を「共有財産」として持ち寄り，連携の力で課題を乗り越えるという新しい形を選びました。TACの理念「単独では成し得ない成長を，共に創る」は，この思いを端的に表しています。

私たちは“東北を一つのフィールド”と捉え，技術，人材，情報を共有する“共創基盤”を構築。災害対応，DX推進，資機材調達，人材育成といった各社が単独では抱えきれない課題に，組織横断で取り組む仕組みを整えました。それは単なる連携ではなく，「地域の建設業が力を合わせ，地



建設会社7社とみずほ銀行により設立

域を支えるための社会的使命を果たす」共同体です。

TAC 設立後にまず取り組んだのは「広域災害対応ネットワーク（東北全域をカバーする災害協定）」の構築です。一地域の災害をその地域だけで対応するのではなく、TAC 構成員会社とその協力会社群で対応することを目的として、2025 年 9 月初旬に「東北アライアンス建設株式会社と構成員会社における災害時の相互援助に関する協定」を締結しました。

その第一条で「災害が発生した時には、構成員会社が相互に援助してそれぞれの市の応急処置・復旧作業・復興事業に貢献し、市民の安全・安心を確保することを目的とする」と謳っています。このような構成員会社全体としての取り組みを他の領域でも進めていきます。

3. 共創が生み出す、新しい建設の力

(1) DX・デジタル施工の推進

建設業の未来を左右するキーワードの一つが「DX（デジタルトランスフォーメーション）」です。TAC では、ICT 施工 Stage II に積極的に取り組んでいます。

加盟各社がそれぞれの強みを持ち寄り、先端技術の採用やデジタルツールの共同開発をとおしてノウハウを共有します。現場ごとに異なる条件下

でも、安全・高品質・高効率な施工を実現できるよう、技術の標準化を進めています。特に「デジタルツイン施工」で、現場の情報をデジタル空間上に再現し、設計から維持管理までを一気通貫で最適化する体制を早期に整えます。

従来は分断されがちだった工程を統合することで、コスト削減と品質向上の両立を実現しています。

(2) 災害対応力の強化

東北は災害の多い地域だからこそ、迅速な対応と広域な連携が不可欠です。TAC は加盟各社が地域を超えて支援し合う「広域災害対応ネットワーク」をいち早く整備しました。

平時からの情報共有、資機材備蓄の分担、緊急時の指揮・通信体制を統一化することで、被災時には一体的に行動できる仕組みを確立。初動対応の迅速化はもちろん、長期的な復旧・復興プロジェクトにもスムーズに移行できる体制を整えています。

「誰かが動く」のではなく、「みんなで動く」。それが TAC の防災・減災への基本理念です。

(3) 資機材・人材の共有

地域間での資機材・人材の偏在は、建設業が抱える長年の課題です。TAC では、資機材の共同調達、相互貸与、人材派遣・交流制度を導入。繁忙期・閑散期を補い合いながらリソースを効率的

に循環させることで，業務の平準化とコストの最適化を図っています。

また，若手社員が異なる地域・現場で実務経験を積めるようにする「共育（ともいく）」プログラムを展開し，若手技術者の育成と人材定着の両立を実現していきます。

(4) 若手人材の育成と技能継承

担い手不足が深刻化する中で，TAC は教育の共通化にも挑戦していきます。各社が個別に行っていた研修を体系化し，DX 技術研修，安全教育，管理職育成などを共同開催。オンライン教育ツールや VR 施工体験なども導入し，次世代を担う若手人材に対し魅力ある学びの場を提供していきます。

ベテラン技術者の知見をデジタルアーカイブとして残す試みも視野に入れています。経験という“見えない資産”を，地域全体の財産として継承する。それが TAC の人づくりの原点です。

4. 「競争」から「共創」へ ——新しい業界モデルの構築

かつて建設業界では「競争こそ成長の源」と考えられてきました。しかし，いま必要とされているのは「共に成長し，地域全体を高め合う力」です。そこで TAC が提案するのは，互いの強みを尊重し，補完し合う「共創型の産業モデル」です。

このモデルは，単なるコスト削減や効率化の枠を超え，地域経済全体の持続性を高める新しい構造を生み出すと確信しています。例えば，共同調達により価格競争から脱却し，品質・信頼・スピードで価値を生み出す取引モデル，あるいは，技術や人材を共有し，地域間の格差をなくすことで全体の底上げを図る教育ネットワーク。

その根底にあるのは，「地域の建設業こそが地域社会の守り手である」という信念です。競争を否定するのではなく，競争の先に“共創”を置くことで，業界そのものの進化を促す。それが，TAC が描く「建設業の新しいあり方」です。

5. 共創が拓くオープンな未来

TAC は閉じられた組織ではありません。私たちの理念に共感し，志を共にする企業や団体には，地域内外問わず広く門戸を開いています。将来的には，建設業に限らず，資材メーカー，ICT 企業，大学・専門学校，自治体など，多様な分野との共創を視野に入れています。

例えば，建設とデジタル教育の連携による技術者育成プログラムや，建設と防災科学の共同研究などです。

「地域を支える」，「未来をつくる」という共通の目的の下に，多様なパートナーと連携することで，より開かれた共創社会を実現していきます。共創の輪が広がれば，結果として地域の競争力も高まり，地域経済が自立的に循環していく。TAC はその「共創システム」の中核として，地域の未来を牽引していきます。

6. 地域の未来を支える 「共創インフラ」へ

今後，TAC が重点的に取り組むテーマは次の三つです。

(1) 防災・減災体制の高度化

広域連携とデジタル支援を融合し，迅速かつ的確な災害対応体制を確立します。平時からの情報共有を強化し，いざという時には即座に動ける“広域災害対応ネットワーク”を構築します。

(2) デジタルツインによるスマート施工の実現

現場をデジタル空間に再現し，設計・施工・維持管理を一体化。AI 解析によるリスク予測やドローンによる進捗管理など，次世代の施工モデルを実現します。

(3) 地域人材の「共育（ともいく）」モデルの確立

若手人材を地域全体で育てる仕組みを整え，教育と実践の両面で支援。「東北全体が一つの学校になる」。そんな学びのネットワークを目指します。これらの取り組みは，単なる効率化にとどまらず，「持続可能な地域インフラ＝共創インフラの構築」につながると考えています。

7. 共創がもたらす，単独では届かない成長

共創とは，協力ではなく「未来を共に描く行為」です。それは，ビジョンの共有から始まり，課題の共有，そして成果の共有へと発展します。一社では不可能な技術開発も，一地域では難しい防災対応も，一人では習得できない技能も，共創の下では可能になります。

TAC の理念「単独では成し得ない成長を，共に創る」は，建設業の本質を再定義する言葉です。建設とは，モノをつくることではなく，人と人，地域と地域を“つなぐ”こと。共創を通じて築くその“つながり”こそが，次の時代の建設業の力になるのです。

8. 東北から，日本の建設業を変える

東北は，厳しい自然と向き合いながら助け合い

の文化を育んできた地域です。TAC は，その精神を受け継ぎ，「共創」を軸に次の時代の建設業を形づくっていきます。共創による効率化，デジタル技術による革新，そして人を中心に据えた成長モデル。

これらの実践は，東北だけではなく，全国の地域建設業にとってのモデルケースになり得ると考えています。TAC は，東北から日本の建設業を変える“変革の起点”として，地域から社会を動かしていきます。

9. 結び — 共創の輪を広げ，未来を築く

「競争ではなく，共創を」。

「単独では成し得ない成長を，共に創る」。

この二つの理念は，私たちの旗印であり，未来への約束です。東北アライアンス建設は，地域の皆さまと共に歩み，考え，地域を築き上げていきます。

災害に強く，技術に磨かれ，人が育つ——そんな東北の未来を，共創の力で実現していきます。

私たちは，東北から日本を変える。その挑戦の先にあるのは，「共に創り，共に生きる社会」です。これこそが，東北アライアンス建設の使命であり，未来への道標です。